

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-4-1 子育て環境の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 青少年家庭課子ども・子育て支援室長 河原 賢 電話番号 0852-22-6071

事務事業の名称	縁結び応援事業	
目的	(1) 対象	結婚を望む独身男女
	(2) 意図	結婚を望む者の出会いの機会を増やし、結婚の可能性を高める。
事業概要	結婚を望む男女の願いを叶えるため、出会いのきっかけづくりをするボランティアを「はびこ」として登録し、「はびこ」を介して出会いの場づくりを支援するとともに、ワンストップで結婚に関する相談を受け付ける結婚支援センター（仮称）を設置する。市町村が取り組む出会いの場づくりなど結婚対策事業に対して、必要な経費を助成する。妊娠、家族の意義を理解するとともに結婚を社会全体で応援する機運を醸成するため、若年層をはじめ広く県民に対して、講座や広報を実施する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	相関件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		1,000	1,000	1,000	1,500	
式・定義	「島根はっぴいこーでいねーたー」に相談した相談者の人数	実績値	836.00	920.00	1,120	1,426		人	
		達成率		92.00	112.00	142.60		%	
指標名	結婚対策事業実施市町村数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		19.00	19.00	19.00	19.00		
式・定義	事業実施した市町村数	実績値	10.00	13.00	17.00	12.00		市町村	
		達成率		68.40	89.50	63.20		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	10,443	74,369
うち一般財源(千円)	10,443	74,369

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 相談者の増加に加え、「はびこ」登録者数もH24：114人、H25：129人、H26：150人と着実に増えているが、出会いの場の設定数及び成婚数はやや減少した。
- 県の補助制度を活用した市町村は減少したが、他の支援制度を活用して事業を実施した市町村があり、市町村も取り組みを強化している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

相当数の成婚に結び付いた。市町村の結婚支援への取り組みが積極的になり、活性化した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 相談者は増加しているにもかかわらず、出会いの場の設定等の対応が十分にできていない。

②困っている状況が発生している「原因」

対応できる「はびこ」の人数が不足していることや、市町村が実施する出会いイベントにおいて十分なフォローができていない。

③原因を解消するための「課題」

「はびこ」の増員を図るとともに、活動に対してバックアップ体制を強化していく必要がある。経験不足の「はびこ」のマッチング能力や市町村担当者のイベントコーディネート能力を高めるための専門的な研修が不足している。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

「はびこ」の増員を図るため、専任のリクルーターを配置するとともに、ワンストップで結婚に関する相談を受け付ける結婚支援センター（仮称）を設置し広域的にバックアップ体制を強化する。市町村担当者のイベントコーディネート能力を高めるため、専門的な研修を実施する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）